

株式会社 Momo

所在地

神戸市中央区海岸通 3-1-14

大島ビル 33 号室

事業内容

アプリケーション・ソフトウェア受託開発

T E L

06-7710-2941

IoT プラットフォームの開発

自社開発の IoT プラットフォーム PaletteloT の展開のほか、近年では省電力 IoT や農業向けの Agri Palette などの IoT プラットフォームの開発にも注力している。

沿革

◆ 創業者の経歴

代表取締役の天津真人氏は、東京外国語大学を卒業後、東京大学大学院人文社会研究科にて認知心理学を専攻。大学院中退後、ソフトウェアエンジニアを経て、2016 年 3 月に当社を設立すると同時に代表取締役に就任し、現在に至る。

◆ 起業に至る経緯

天津氏は個人や企業内で iPhone アプリや複合機プリンタ連動システム等を開発していた経緯もあり、この当時の事業経験も活かした創業となっている。

ハックベンチャーズなどからの出資を得て数次の増資を行い、現在の資本金は 72,184 千円となっている。

現在の会社を立ち上げる直接のきっかけは、神戸市のアクセラレータープログラムに採択されたことが大きい。

◆ 事業にける思い

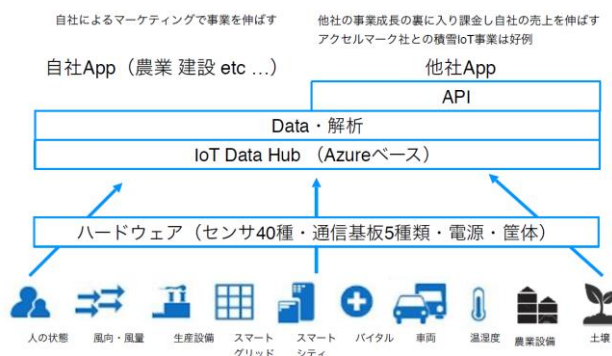
IoT のプラットフォームを運営し、回路設計までを行う会社は日本では当社のため、IoT のプラットフォームを社会に一層浸透させたいとの思いがある。

また、専門知識不要なレベルまで簡素化した独自の自社開発プラットフォーム (PaletteloT や、Agri Palette 等) をより浸透させたい。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

【PaletteloT イメージ図】



当社が開発した IoT プラットフォームである PaletteloT の特徴は、専門の知識や多くの開発費、時間を要せず、簡易的に IoT システムの構築を可能とすることにある。

また、組み替え可能センサーと送信用無線基盤を組み合わせ、必要な場所に設置しスマートフォンやタブレットにダウンロードすることで、いつでも IoT が利用出来る点も特徴であり、現在は量産化に取り組み、事業を推し進めている。

◆ 強み・アピールポイント

IoT 事業は、IT とものづくりが融合した事業であるが、この融合が回路からソフトウェアまでのレベルでできている企業は、現在のところ当社しかなく強みとなっている。

したがって、IT 若しくはものづくりの何れかを主業としている企業には、容易には取り組み難い事業分野となっている。

また、センシング（センサーを利用して物理量や音・光・圧力・温度などを計測・判別すること）・農業用プラットフォーム（AgriPalette）まで行う企業は日本においても極僅かである点は強みである。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5年後、10年後の目標とする到達点やロールモデル

2020年2月期売上高は4,000万円を超え、2021年2月期の売上高は1億円前後、若しくは上回る予定である。

また、当社では、KDDIやNTT西日本、JR西日本などと協業開発を行っている。資金調達に関しては、協業開発の時点のみではなく、その後の開発過程でも協業開発先から継続的に資金提供を受けている。こうした取組みを積み上げていくことで、自然にIPOもできると考えている。IPOに関しては、4年後を目途としている。

将来的な業績目標としては、自社の事業価値9億円程度の評価額で資金調達を行っていることを勘案すると、この5倍相当の売上高50億円規模は、今後4年以内に達成しなければならないと考えている。最終利益は2億円～3億円を確保したいと考えている。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス

拡充したい販路（ターゲット層）

新たなシステム構築として、SDGSつながる省電力IoTなどにも取り組んでおり、現在は愛知県で実証実験中であり、今後は横浜市においても順次開始していく予定である。

また、当社に出資予定の会社と工場向けIoTにも鋭意進出予定である。

とりわけ、農業面への取組みに注力し、AgriPaletteを開発し、農水省の管轄の部会や公社等をターゲットとし事業を展開している。

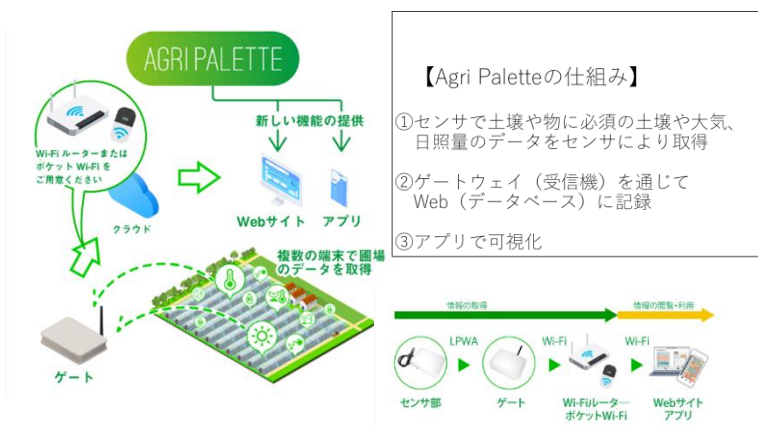
農業算出の50%以上が過疎地域で算出されていることから、これらの地域にとって農業は、育成しなければならない産業となっている。

AgriPaletteは様々なデータを蓄積することができ、農産物の高付加価値化及び販路の拡大をすすめることを可能にしている。

単体でセンシングデータを活用するよりも、

他の優れた農家のデータを見ながら営農することで、その地域やブランドの農作物の供給量の底上げが可能となる。さらに、安定供給が可能となって競争力が増すことから、農業公社や農業振興課や共選共販の部会などに組織的に使用してもらいたいと考えている。

【Agri Palette イメージ図】



PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

PaletteIoTだけでなく、AgriPaletteを開発し、農業のIoT化を積極的に進めている。いわばSociety 5.0の農業版をつくることで、農業をそのままデジタルトランスフォーメーション化し、希少作物の大量生産を進めることで、農業分野から世界を変えていきたい。

会社概要

設立：2016年3月
資本金：72,184千円
従業員数：7人
URL：<https://momo-ltd.com/>
主力サービス開始時期：2017年末